

生徒数511名

風は未来を 9月号

「前向きに実践できる、みんなが元気な長野中」

災害から身を守るのは自分自身です！

広島市の大規模土砂災害から2週間あまりが立ちました。9月3日現在で死者は72人、2人が行方不明となっています。避難所では依然として1,400人近くの方が生活しています。自然災害はいつどこで起こるかは分かりません。私たちの住む行田市は比較的災害が少ない所と言われてはいますが、大雨、雷、竜巻には十分に警戒しなければいけません。

「空が暗くなる」「冷たい風が吹いてくる」「雷が見える・聞こえる」などの積乱雲が近づくサインを感じたら、まもなく急な大雨や落雷が起きる可能性が大きいです。また、竜巻が襲ってくる場合もあります。猛烈に強い風が吹き出したら、鉄筋コンクリートのビルなど、すぐに近くの丈夫な建物の中へ入りましょう。大雨がふると、地下に水が流れ込むことがあるので、地上より上の階にいるようにしましょう。雷のときは車や列車の中も安全ですが、竜巻のときは車も飛ばされてしまうので危険です。また、飛んできた物が窓を突き破り、部屋にガラスが飛び散るおそれがあるので、窓に近づいてはいけません。テーブルの下など、飛んでくるものから身を守る場所へ非難しましょう。

竜巻被害を防ぐには

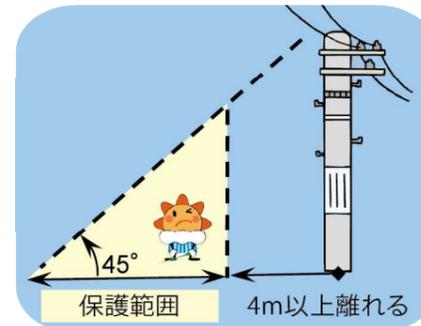
気象庁リーフレットより

すぐに行動！ 竜巻を見続けたりすることは危険です。

- 窓を開けない
- 窓から離れる
- カーテンを閉める
- 雨戸・シャッターを閉める
- 車庫・物置・プレハブを避難場所にしない
- 近くの丈夫な建物に避難する
- 避難できる建物が無い場合は近くの水路やくぼみに身をひせ両腕で頭と首を守る
- 飛来物に注意する
- 地下室や建物の最下階に移動する
- 家の中心部に近い、窓のない部屋に移動する
- 部屋の隅・ドア・外壁から離れる
- 丈夫な机の下に入り、両腕で頭と首を守る

屋内にいる場合 **屋外にいる場合**

雷から身を守るには



雷は、雷雲の位置次第で、ところを選ばずに落ちます。金属類を身につけていると落雷を受けやすいとよく言われますが、実際は金属類の有無にかかわらず人間にも落雷することがあるそうです。また、近くに高いものがあると、これを通して落ちる傾向があります。グラウンドやゴルフ場、屋外プールなどの開けた場所や、山頂などの高いところなどでは、人に落雷しやすくなるので、できるだけ早く安全な空間に避難してください。

鉄筋コンクリート建築、自動車、列車の内部は比較的安全な空間です。また、木造建築の内部も基本的に安全ですが、全ての電気器具、天井・壁から1m以上離れば更に安全です。

近くに安全な空間が無い場合は、電柱、建築物などの高い物体のてっぺんを45度以上の角度で見上げる範囲で、その物体から4m以上離れたところ(保護範囲)に退避します。高い木の近くは危険ですから、最低でも木の全ての幹、枝、葉から2m以上は離れてください。姿勢を低くして、持ち物は体より高く突き出さないようにします。雷の活動が止み、20分以上経過してから安全な空間へ移動します。



「災害から身を守る」自己チェック

今まで、避難訓練などで勉強してきたことをもとに、自己チェックしてみましょう。

キミならどうする？
たつまさ 竜巻が見えたとき

友だちと外にいたら、竜巻が見えました。そんなとき、どのようにすればよいと思いますか？
下の例のうち、正しいものは○、まちがっているものには×をつけて、その理由を書いてみましょう。

1 すぐに頑丈な建物へひなんする。 ()
理由 _____

2 竜巻が近づいてこないかどうかを窓から見続ける。 ()
理由 _____

3 できるだけ窓からはなれる。 ()
理由 _____

かみなり
雷が聞こえたとき

友だちと公園にいたら、遠くから雷の音が聞こえてきました。そんなとき、どのようにすればよいと思いますか？
下の例のうち、正しいものは○、まちがっているものには×をつけて、その理由を書いてみましょう。

1 身に付けている金属のものをすべて取れば安心。 ()
理由 _____

2 大きな雷の音が近づくまでは、ようすを見る。 ()
理由 _____

3 雷が光ってから音がするまで10秒以上ならだいじょうぶ。 ()
理由 _____

4 木の下にひなんする。 ()
理由 _____

5 近くのしっかりした建物にすぐにひなんする。 ()
理由 _____